

2026年4月19日（日）第1礼拝「三つの祝福」Ⅲヨハネ1章2節

神様はエデン(喜びの園)に人を置かれました。その喜びを維持するのは、いのちの木の実を食べることです。神様は「善悪の知識の木の実を取って食べると必ず死ぬ」と言われました。しかし、アダムとエバはサタンの誘惑にあってその実を食べ、三つの呪いを受けてしまいました。一つ目、彼らの霊は死に、神との関係が断絶し、サタンの支配下に置かれました。二つ目、すべてにおいて呪いを受け、地にはいばらとあざみが生えました。いくら働いても実がならず、そのストレスはエバに向けられ、家庭は呪われました。三つ目、「あなたはちりなので、ちりに戻る」と言われた時、死の宣告を受け、そのちりをへび食べるという永遠の呪いも受けました。しかし、イエス様はこれら三つの呪いを祝福に変えてくださいました。

第一番目、「**たましいに幸いを得**」 私たちの罪はイエス・キリストの血潮で清められ、私たちの霊は生き返り(新生)、神様と和解することができました。聖霊は私たちにイエス様の愛を注いでくださり、再び恐怖に陥れる奴隷の霊から解放し、子としてくださる御霊をくださいました。それゆえ、私たちは御霊によって「アバ、父」と呼ぶことができるのです。御子イエス様を受け入れた人は皆、神の子どもです。私たちが神の子どもであることは、御霊ご自身が私たちの霊とともに証してくださいます。

第二番目、「**すべての点でも幸いを得**」 神様は御子イエス・キリストをさえ惜しまずに与えてくださいました。御子がすべての呪いを背負ってくださったと信じる信仰が御霊によって与えられ、神様の愛が私たちに注がれました。その愛によって働く信仰だけが大切です。イエス様は、私たちのすべての呪いやいばらやあざみを背負われ、十字架で処分され、私たちにアブラハムの祝福を与えてくださいました。私たちが神様の約束を信じ、御声に聞き従い、命令を守り行うなら、私たちは町にあっても、野にあっても祝福され、私たちの身から生まれる者も、地の産物も、家畜も祝福されます(申命記 28 章)。また、かごも、こね鉢も祝福され、入る時にも、出て行く時にも祝福され、敵は逃げ去り、穀物倉と手のわざも祝福されます。主は私たちを守られ、このような祝福の中に入れてくださいました。

第三番目、「**健康であるように**」 サタンは昼夜、罪責感を与えて私たちを攻撃するため、喜びは消えてしまいます。ダビデは罪を犯し、その罪を告白するまで「夏の日照りで骨が干からびた」と言いましたが、その罪を告白した時、彼の喜びは回復しました。人の健康は骨から来ます。また、病気はストレスから来ます。スタンフォード医科大学は、80%の病気はストレスが原因だとし、WHOもストレスは21世紀型の伝染病だと発表しました。この通り、ストレスが原因で様々な病気になるのです。しかし、すべてを主にゆだねるなら、ストレスから解放されると同時に、聖霊によって心が憎しみや怒りや嫉妬から守られ、赦しを通して勝利することができます。また、六日働いて七日目に休むことで健康を保ち、仕事も効果的に行うことができます。臨終の際も、私たちは永遠の安息を受け、イエス様の中で復活することができるのです。このように主は三つの呪いを三つの祝福に変えてくださいました。